

予算は 355 億円

会計別予算額と前年度比較 (金額は千円以下を四捨五入。合計は合致しない場合があります)

会計名	24年度当初	23年度当初	増減率
一般会計	202億3,000万円	210億4,000万円	△3.8%
国民健康保険事業(事業勘定)	44億5,648万円	42億3,880万円	5.1%
後期高齢者医療	4億4,246万円	4億1,618万円	6.3%
介護保険(介護サービス事業勘定)	1億9,663万円	1億9,666万円	0.0%
介護保険(保険事業勘定)	31億6,379万円	30億8,831万円	2.4%
簡易水道事業	7億8,530万円	9億2,330万円	△14.9%
下水道事業	23億8,820万円	24億6,550万円	△3.1%
国民健康保険事業(診療施設勘定)	3億0,891万円	3億9,090万円	△21.0%
下呂財産区	324万円	657万円	△50.7%
小計	117億4,501万円	117億2,622万円	0.2%
公営企業会計			
水道事業	3億2,945万円	5億6,950万円	△42.2%
下呂温泉合掌村事業	2億8,847万円	3億0,639万円	△5.9%
金山病院事業	29億5,200万円	26億9,056万円	9.7%
小計	35億6,991万円	35億6,645万円	0.1%
合計	355億4,492万円	363億3,267万円	△2.2%

総額で前年比2.2%減に

平成24年度予算が決まりました。一般会計は202億3千万円、特別会計・公営企業会計を合わせた予算総額は、355億4492万円です。

学校施設の耐震化等の事業(約13億円)が前年度に前倒しになったことで、一般会計では前年度当初比3.8%減となりました。また一般財源による事業の増加に伴い、基金からは7億9千万円を取り崩し、繰り入れます。

平成24年度予算では、下呂市第一次総合計画後期基本計画に掲げた「信頼できる市政運営」「元気なまちづくり」「安心、安全なまちづくり」の3つの視点を軸に「災害に強いまちづくり」に力を入れるとともに、自助・共助・公助による「元気な下呂市」づくりに取り組みます。

また、各種施策を計画的かつ着実に実施し、下呂市としての基礎体力をつけていくことに努めていきます。

用語解説

【一般会計】市の基本的な事業に関する会計です。

【特別会計】特定の事業を行う場合に、その経理を他の会計と区別するため、法律や条例に基づいて設置している会計です。

【国民健康保険事業特別会計(事業勘定)】市が保険者となつて運営する国民健康保険事業を運営するための会計です。

【後期高齢者医療特別会計】75歳以上の高齢者を対象とした医療保険制度を運営するための会計です。

【介護保険特別会計(介護サービス事業勘定)】小坂老人保健施設の運営と、介護予防支援業務を行うための会計です。

【介護保険特別会計(保険事業勘定)】市が保険者となつて運営する介護保険事業を運営するための会計です。

【簡易水道事業特別会計】給水人口が5000人以下の水道事業を運営するため

平成 24 年度下呂市

災害に強いまちづくりと 自助・共助・公助による「元気な下呂市」を目指して

昨年とはかつてない豪雨災害等が市内で発生しました。また、市内を走る阿寺断層帯や猪之鼻断層帯では地震発生の確率が高まった可能性があるとした政府の地震調査委員会の発表もあり、市では市民の「安心・安全」の確保を重視して、災害に強いまちづくりに取り組めます。

目指し、菅田小学校舎耐震補強事業や萩原小・竹原小屋内運動場改築事業に取り組みます。昨年、豪雨により冠水被害のあった幸田地区のJRA下水道パスの排水路改修事業を実施します。国道41号の雨量通行規制の緩和に向けて整備等、災害に強い道路ネットワークの構築を関係機関に強く要望していきます。

◆災害に強いまちづくり

災害時の指令塔となる庁舎の一本化などの検討に向けた体制づくりを進める一方、防災担当課を設置し、防災担当部局の体制強化を図ります。

学校施設の耐震化率100%を

災害時や災害復旧・復興過程では、市民や地域の力が大きな力となります。そのため、防災士資格の取得費用に係る補助制度を創設し、地域の防災リーダーの育成を進めることにも、各地域で災害凶

上訓練や中学生以上の市民を対象とした普通救命講習会を実施していきます。また、自主防災組織の災害対策用資材の整備を支援し、市民や地域の防災力強化に努めます。

◆自助・共助・公助による「元気な下呂市」づくり

住民が主体的に地域の課題やまちづくりに取り組めるよう「地域自治区」づくり（5地区）の取り組みを進めるため、市民参加のワークショップを開催します。また地域での支え合い体制・福祉力の強化を目指し、「福祉のまちづくり会議」も各地域で開催していきます。

◆信頼される市政運営

地方交付税の特例措置が終了する平成31年度以降の持続可能な下呂市の姿を見据え、今までの「選択と集中」、「行財政改革」を進めなければなりません。組織全体の業務の在り方や公の施設の在り方等についても検討を進め、身の丈にあった効率的な行財政運営に努めていきます。



の会計です。（市内に25施設）

【下水道事業特別会計】下水道事業を運営するための会計です。（市内に21施設）
【国民健康保険事業特別会計（診療施設勘定）】小坂診療所を運営するための会計です。

【下呂財産区特別会計】下呂財産区の財産を管理するための会計です。

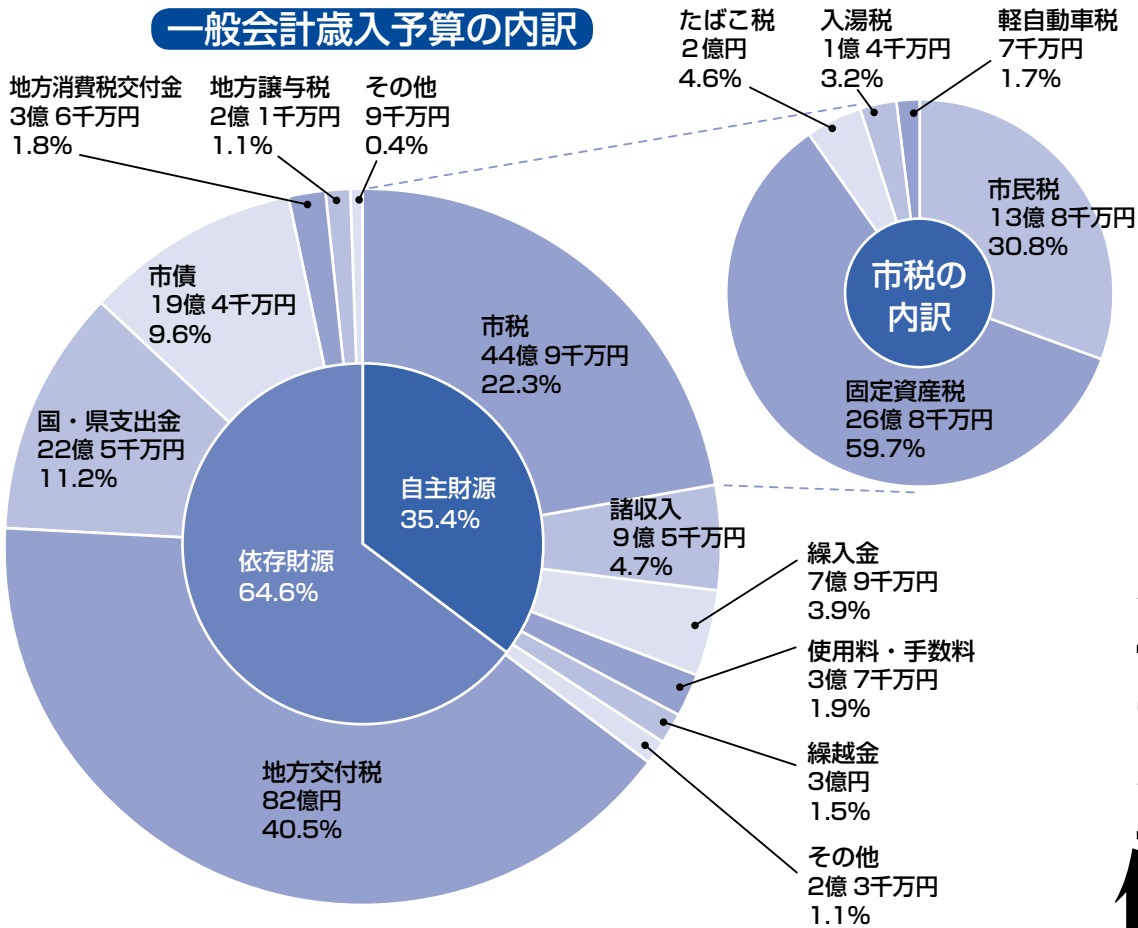
【公営企業会計】独立採算制を原則とする企業的な性格を持った事業について、地方公営企業法の適用を受けて行う会計です。

【水道事業会計】給水人口が5001人以上の水道事業（旧下呂町の下呂地区）を運営するための会計です。

【下呂温泉合掌村事業会計】下呂温泉合掌村を運営するための会計です。

【金山病院事業会計】金山病院を運営するための会計です。

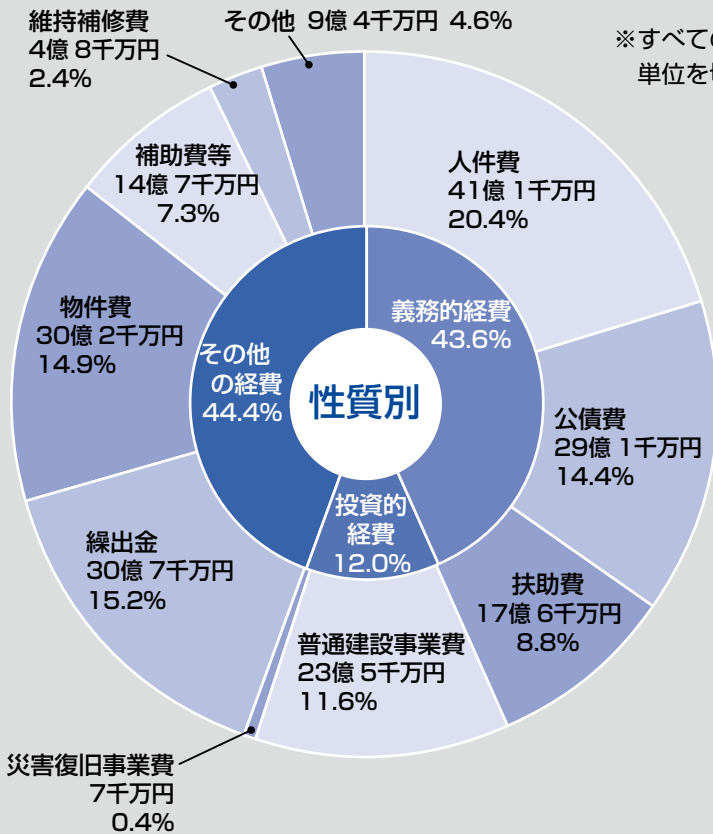
一般会計歳入予算の内訳



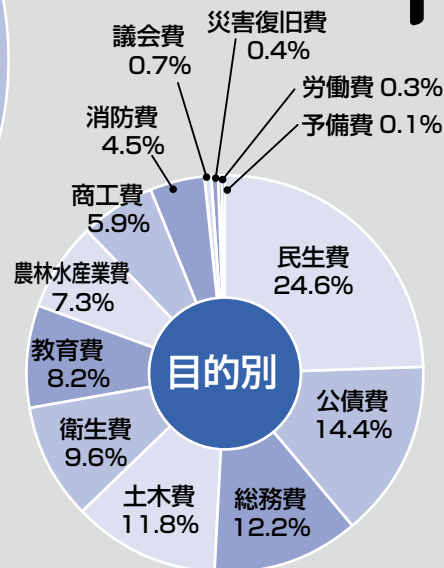
一般会計の総額は
202億3千万円

※すべての円グラフで、金額は 100万円
単位を切り捨てています。

性質別



目的別



一般会計歳出予算の内訳

歳入

市税は、個人市民税で年少扶養控除の廃止や特定扶養控除の縮小により対前年比5・4%増を見込む一方、法人市民税で対前年比6・8%減を見込みました。固定資産税では評価替えに伴い対前年比5・0%減を、入湯税では宿泊者数の増加傾向から対前年比4・7%増を見込み、市税全体では対前年比1・8%減を見込んでいます。

地方交付税は、地域主権改革に伴う財源の充実により前年度と比べ4億円増を計上。国・県支出金は、事業にかかる補助金の減額により前年度より3億2千万円(12・4%)の減

としていきます。

繰入金は、一般財源による市単独事業の増加等に伴い、基金7億9千万円(12・6%増)を取り崩し、繰り入れます。

市債は児童福祉施設や道路橋梁、学校施設整備などの事業に計上。前年度より7億6千万円(28・2%)の減です。

歳出

歳出を性質別で見ると、議員定数の削減や職員数・職員給等の減で人件費は1億1千万円の減となり、公債費、扶助費を合わせた義務的経費は前年度より1億7千万円(2・0%)の減となりました。予算全体に占める割合は43・6%です。

投資的経費(普通建設事業費)は23年度に計上した社会資本整備事業や環境衛生施設整備事業(最終処分場増設工事)、消防救急(デジタル無線整備事業)の完了に伴い5億円(17・6%)の減となった一方、昨年の豪雨災害に伴い災害復旧費は5千万円(361・5%)の増となっています。

物件費や維持補修費は抑制に努めた一方、住宅リフォーム補助金やぎふ清流国体の負担金等で補助費等は1億4千万円(10・7%)の増となっています。繰出金は、前年度より1億6千万円(5・1%)の減となりました。これは一般会計を通して下水道会計に繰り出していた国庫補助金が、直接下水道会計に入ることになったためです。

用語解説

【歳入】 1年間のすべての収入

【自主財源】 自前で収入できるお金

【依存財源】 国や県から交付されたり、借り入れたりするお金

【繰入金】 各種基金を取り崩して繰り入れるお金など

【地方交付税】 所得税など国が徴収した税金の中から、市町村の財政規模に応じて配分されるお金

【市債】 公共施設の建設など、市が一度に多額の出費が必要な場合に認められる長期の借入金

【国・県支出金】 国や県の決めたルールにあった仕事をする場合などに、必要な費用の一部または全部が補助されるもの

【地方譲与税】 国が徴収した自動車重量税などから配分されるお金

【歳出】 1年間のすべての支出

【義務的経費】 法令あるいは性質上、支出が義務づけられた経費

【投資的経費】 道路や建物の建設、用地の購入など市民の財産として将来に残るものに支出されるお金

【公債費】 借り入れた市債の返済に充てるお金で、元金の返済金とその利息

【扶助費】 生活保護費や障がい者への援助費など福祉のためのお金

【物件費】 委託料や使用料、光熱水費、消耗品費、備品購入費など

【繰出金】 特別会計への繰出金

【補助費等】 各種団体への補助金や交付金、保険料、謝礼金など

【維持補修費】 施設や道路などの維持補修にかかるお金

元気なまちづくり

【道路・河川・都市計画・住宅施策】

社会資本整備総合交付金事業	5 億 411 万円
〔道路：横谷前山線、小川 2 号線、下呂温泉散策路、小坂町大島線〕	
〔橋梁長寿命化整備：阿多野橋他〕	
緊急経済対策住宅リフォーム助成事業	5,300 万円
道路新設・改良・補修事業等	1 億 5,220 万円

【観光振興施策】

観光戦略強化事業	1 億 1,000 万円
観光客誘致対策事業	4,677 万円
観光戦略基盤整備事業	395 万円
影絵劇新作製作費（下呂温泉合掌村事業会計）	550 万円
観光振興事業積立金（公共事業基金）	5,000 万円
〔観光振興事業等における 4 年間の基金積立〕	

【商工業の振興施策】

企業立地促進支援事業	1,537 万円
〔事業所の新設・増設・移設、新規雇用、初期投資に対する助成〕	
雇用対策事業〔東日本大震災関連〕	750 万円
事業者向け融資事業	6 億 9,436 万円
地域活性化事業	830 万円
〔飛騨金山駅・飛騨萩原駅を利用した地域活性化の取り組み支援〕	
濁河温泉高原スポーツレクリエーションセンター運営事業	388 万円

【農業振興施策】

滝上・位山牧場の整備等	7,336 万円
アグリチャレンジサポート事業	390 万円
〔市外からの農業研修生、新規就農者への各種支援〕	
有害鳥獣捕獲事業	2,758 万円
獣害防除対策事業	1,157 万円
県営土地改良事業	1 億 2,176 万円

【林業振興施策】

産直住宅建設支援事業（市単事業）	500 万円
森林環境税推進事業	6,670 万円
〔奥山林、水源林、溪畔林等の環境保全林整備、里山林整備〕	
森林集約化施策促進事業	4,066 万円
〔森林の活性化と間伐材の搬出促進 他〕	
森林整備地域活動支援交付金事業	4,300 万円
〔作業道の点検補修等の地域活動助成 他〕	

【教育施策】

ぎふ清流国体開催諸経費	7,423 万円
萩原小学校のトイレ洋式化	6,045 万円
小坂山村開発センターのトイレ洋式化	389 万円
埋蔵文化財発掘調査出土品整理活用事業	331 万円
教育国際交流事業（中学生海外派遣）	2,099 万円
下呂交流会館管理運営・事業費	1 億 8,118 万円

※千円以下は切り捨て

信頼できる市政運営

地域振興事業	1 億 1,051 万円
選挙費	5,703 万円
指定管理者制度導入（33 施設）	4 億 2,275 万円
市債繰上償還（一般会計）	1,045 万円

その他

小坂高齢者生産活動センター撤去費	4,827 万円
------------------	----------

合併特例債の使いみち（充当額）

竹原地区保育園統合整備事業	2 億 6,900 万円
環境衛生施設整備事業	1 億 1,370 万円
滝上牧場整備事業	2,930 万円
ふるさと農道整備事業	5,640 万円
小川 2 号線道路改良事業	5,890 万円
県道路改良事業負担金負担事業	1,990 万円
消防署施設改修事業	1,260 万円
萩原小学校トイレ改修事業	5,740 万円
萩原小学校屋内運動場改築事業	1,270 万円
竹原小学校屋内運動場改築事業	690 万円
菅田小学校校舎耐震補強事業	6,280 万円

安心・安全なまちづくり

【下呂温泉病院・金山病院への対応】

市立病院移転新築事業（金山病院事業会計）	10 億 7,766 万円
県立下呂温泉病院跡地利用検討事業	165 万円
県立下呂温泉病院跡地利用等のための積立	1 億円

【健康医療・福祉施策】

医師招へい事業 〔下呂温泉病院の産婦人科医師招へい：2名〕	1,000 万円
看護師等修学資金貸与事業	2,604 万円
医療対策事業 〔医療ビジョンの実践と市民フォーラムの開催〕	49 万円
高齢者住宅改修助成事業（住宅リフォーム助成）	2,000 万円
市立老人ホーム施設整備事業 〔あさぎりサニールンド、かなやまサニールンドの改修〕	1 億 1,816 万円
福祉のまちづくり事業 〔福祉のまちづくり会議を各地域で開催〕	119 万円
交通対策事業 〔コミュニティバス、デマンドバス、路線バス事業費〕	1 億 1,822 万円

【子育て支援施策】

特定不妊治療費助成事業	200 万円
子どものための手当給付費	5 億 6,860 万円
竹原地区保育園統合整備事業 〔みのり・白草保育園の統合に伴う新園舎建設 ～25年度〕	2 億 8,322 万円

【防災・消防・防犯対策】

防災士資格取得助成、自主防災組織支援等	923 万円
幸田排水路改修事業	1 億 2,168 万円
北・南消防署施設整備事業	1,478 万円
消防機庫新築事業〔下呂第1分団第2部〕	1,022 万円
消防自動車等購入事業 〔消防ポンプ自動車1台（金山方面隊） 〔小型動力ポンプ6台（萩原2台・下呂1台・金山3台）〕	3,161 万円

【環境衛生施策】

環境総合基本計画策定事業	1,409 万円
環境衛生施設整備事業 〔新クリーンセンター施設整備に係る調査測量、用地購入他〕	1 億 9,777 万円
ごみ処理施設維持補修費	1 億 6,003 万円

【水道・下水道事業】

各地域簡易水道施設整備費	1 億 59 万円
公共下水道下呂処理区整備費	4,200 万円
特定環境保全公共下水道整備費（萩原処理区）	2 億 1,084 万円

【教育施策】

小学校屋内運動場改築事業 〔萩原小：外構工事、竹原小：倉庫工事〕	2,499 万円
菅田小学校校舎耐震補強事業 〔23～24年度〕	9,122 万円

平成 24 年度の主要事業



平成 25 年 6 月完成予定の竹原保育園（仮称）の完成予想図